

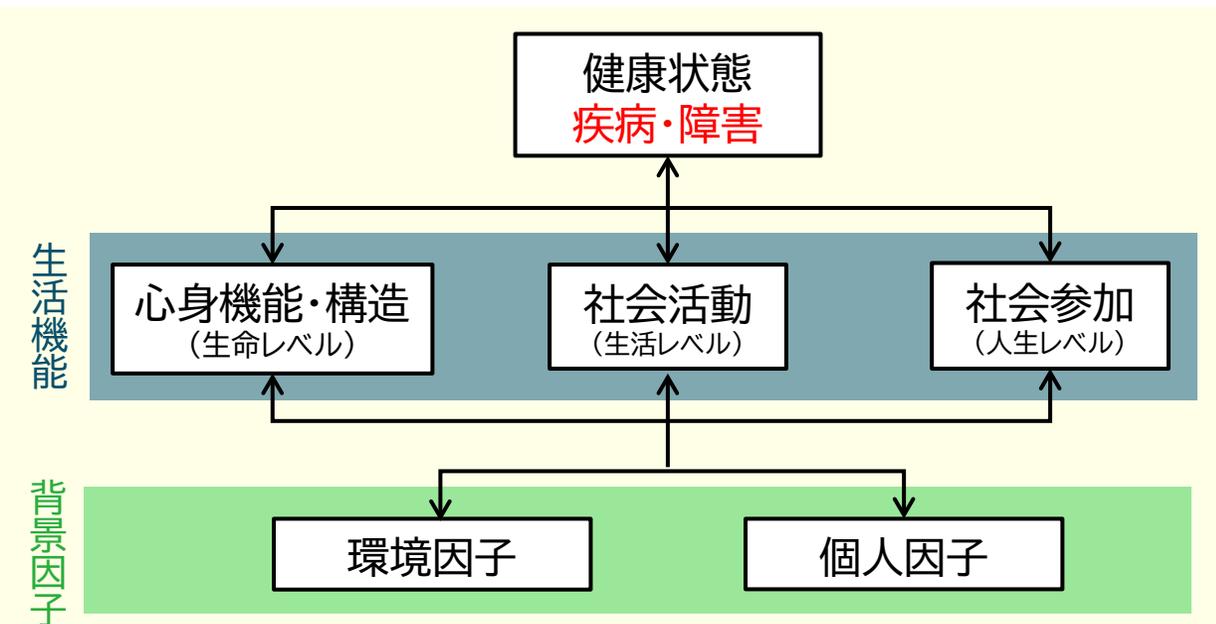
精神科病院と地域

- 骨折の治療なら、手術→リハビリ→社会復帰というように一方向で考えることが可能です。
- しかし、精神疾患の治療では、右下図のように地域の中で個人の強みと環境の強みが相互に作用しあって地域生活を維持するシステムが必要です。「にも包括」の理念もそこにあります。
- 県立精神医療センターの根幹的役割は、重症難治例であっても地域の中で生活できるような相互作用型の医療を展開することです。救急や身体合併症が強調されていますが、それはセンターが果たすべき機能の一部に過ぎません。

● 古い考え方(一方向)



● 新しい考え方(相互作用型)



ICF (国際生活機能分類:WHO) を一部改編

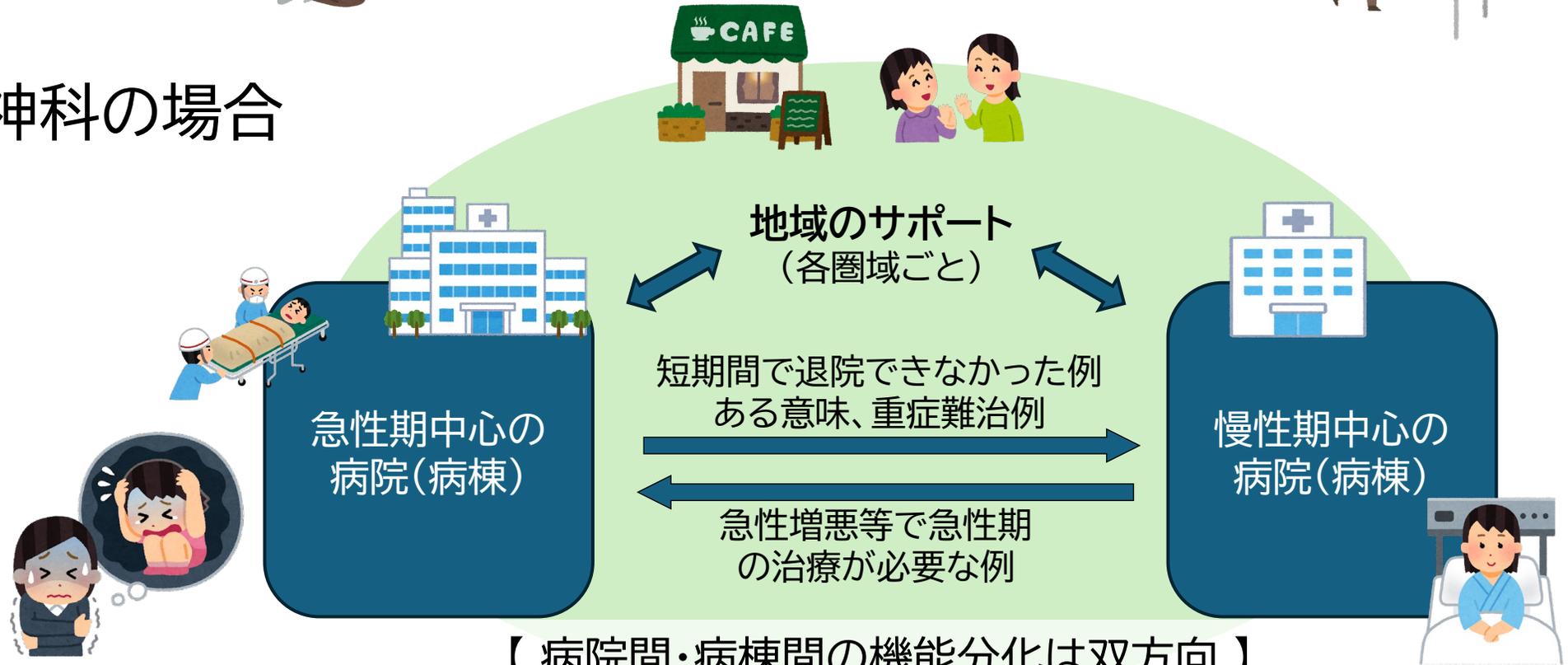
病院間・病棟間の機能分化

図説14-2

● 骨折の場合



● 精神科の場合



大学精神科や総合病院精神科が一方向になるのはやむを得ませんが、
県立精神医療センターは双方向(相互作用型)を維持しなければなりません。